

行政報告の主な内容（ 7 課 2 5 項目）

(1) 総務課	富良野広域連合設立について
	町有財産有効活用事業について
	ふるさと納税制度について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	特定健診・特定保健指導について
	麻しん（はしか）発生対策 （微量採血者の肝炎検査実施結果）
(3) 町民生活課	自治基本条例制定の取り組みについて
	町税等の収納対策について
	交通安全対策について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	全道農業危機突破総決起大会について
	献穀米御抜穂祭について
	第 5 回花と炎の四季彩まつりについて
	地産地消推進事業について
	上富良野 DAY について
	上海招聘事業について
(5) 町立病院	老人保健施設転換について
	救急医療体制について
	（微量採血者の肝炎検査実施結果）
(6) 建設水道課	上下水道料金滞納対策について
(7) 教育振興課	国内外交流事業について
	新英語指導助手の着任について
	全道・全国大会出場について
	公立高等学校配置計画（案）について
(8) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成20年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

はじめに、多くの町民の皆様にご不安を与えました血糖検査用微量採血器具の不適切な使用についての経過報告であります。

不適切な使用の問題を把握以降、町広報紙への掲載、対象者の把握及び本人への謝罪と合わせ対策を講じてきたところであります。

その結果、保健福祉課関係の11名につきましては、全員に肝炎ウイルス検査を実施し、全員が異常なしであります。

また町立病院関係では対象者128名のうち検査希望ありが62名、又不適切な使用に関係せず希望なしが59名、確認中が7名となっております。

検査を実施した62名のうち、54名が異常なしで本人への通知が済んでおります。現在3名が検査の結果待ちであり、数値の高い5名の方については、いずれも町立病院に通院されておりますので、ご本人が来院時に主治医から直接説明を行っているところであります。

また、現時点において、検査意思等の確認がとれていない方が7名おりますので、最後の一人まで、検査意思等の確認を行い、万全を期すとともに、このようなことが再発しないよう徹底してまいります。

（総務課行政報告【広域行政関係】）

次に、富良野広域連合設置の関係につきましては、9月1日に5市町村長と、関係市町村議会議長のご臨席を賜り、北海道知事から設立許可書を受領し、正式に特別地方公共団体である「富良野広域連合」を立ち上げることができました。

同日、広域連合長選挙において能登富良野市長が広域連合長に選出され、その後、設立時に必要な条例案と暫定予算案など正副連合長会議において決定し、同日広域連合長において専決処分されたところであります。

今後につきましても、必要な手続きに伴う数多くの協議の機会などがありますので、議員各位、町民の皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

次に、町有財産有効活用事業の実施状況についてであります。公売を予定していた遊休町有地について、公売準備が整った物件から、町広報紙を通じて購入希望者を募集しているところであります。現段階では、町内からの購入希望がないことから、時期を見て募集範囲を町外の方にも拡大し、町有財産の有効活用が図られるよう取り組んでまいります。

また、旭町教職員住宅の1棟2戸が新たに普通財産に移管されましたので、利用目的を移住準備住宅として入居希望者の募集を行い、既に1戸の入居者を決定したところであります。残りの1戸分についても、移住対策の一環として入居希望者の募集を進めてまいります。

次に、本年1月1日からの寄附を対象として始まった「ふるさと納税制度」についてであります。当町もこれを好機と捉え町を応援したいという方々が、安心してご寄附いただけるよう、ラベンダー発祥の地としてラベンダーを核としてまちづくり事

業を中心とした「ラベンダーの里かみふらのふるさと応援寄附条例」の原案をまとめ、今定例町議会に上程しておりますので、ご審議賜りたいと存じます。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に自衛隊関係であります。7月13日旭川地方協力本部及び上富良野駐屯地の第3地对艦ミサイル連隊、8月10日千歳航空祭、8月31日第1特科団の記念行事に出席してまいりました。

また、8月24日は静岡県東富士演習場で行われた富士総合火力演習を見学し、その後開催のレセプションにも出席し、翌25日には、防衛省の異動に伴う幹部の方々や関係者にごあいさつを行ってまいりました。

要望関係では、9月10日、富良野地方自衛隊協力会を構成する各市町村長とともに上富良野駐屯地の現状規模堅持及び上富良野演習場拡張整備に関する要望を上富良野駐屯地及び第2師団に行ってまいりました。

次に基地対策として、6月23、24日、北海道基地協議会の要望運動に参加し、北海道防衛局並びに防衛省、総務省、財務省に対して防衛施設周辺整備事業に関する要望を行いました。

翌25日には、上富良野町基地対策協議会の役員とともに防衛省において、当町の防衛施設周辺整備の事業要望を行ってまいりました。

（保健福祉課行政報告）

次に、特定健診・特定保健指導の実施についてであります。対象者となる40歳から74歳までの町国保加入者に対しまして、6月7月に集団健診・8月に個別健診

を実施いたしました。その結果、男性1,172名のうち651名、女性1,392名のうち872名の方々が、特定健診を受診され、現時点での受診率は59.4%となったところであります。

受診された方々には、個々の健診結果を理解し、生活習慣改善への取り組みを図るために、750人を対象に個別相談の案内を行い、相談に来られなかった方には訪問指導等を実施いたしました。

今後も未健診者には健診の機会を設け受診を推進するとともに、特定保健指導の充実に努め、町民の方々の健康づくりに最大限努めてまいります。

次に、麻しん発生と予防接種状況についてであります。町内で散発的に麻しん患者が発生したことから、児童生徒の麻しん罹患蔓延防止を目的に、現行の5ヵ年計画を前倒し、任意接種費用助成を実施しました。この結果、93.8%の方が任意接種を受け、大きな成果を得たところであります。

（町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、自治基本条例制定に向けた取組み状況についてであります。条例案をまとめた以降、町広報紙への特集記事を掲載したほか、まちづくりトーク、説明会、出前講座を開催し、町民の皆様への周知と意見交換を進めてきております。

これまでの説明会等の実施状況としては、出前講座3団体、住民会長と町内会長への説明会、生活安全推進協議会の説明会、教育委員会関係や農業委員の研修会を実施したほか、議員の皆様にもご説明をさせていただきました。また、8月下旬には「まちづくりトーク」を町内3か所で実施し、述べ29名の参加を頂き意見交換をしたところであります。

また、パブリックコメントを8月15日から9月16日までの間実施した結果、6

名の方から22項目のご意見をいただきました。

自治基本条例の制定にあたっては、町民、議会、行政が一体となった取り組みが重要でありますことから、今後におきましても、町民の皆様への十分な周知と条例案への意見反映を図るとともに、議員各位との連携した協議を重ね、12月議会への上程を目指しております。

（町民生活課行政報告【税務班関係】）

次に、町税等の収納対策であります。平成20年度上半期の町税等の徴収状況については、4月から8月にかけて所得税還付金3件の差押えを実施し、9万9千円の換価収納いたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクトを1回実施し、延べ116名の臨戸訪問徴収により町税等117万4千円を徴収いたしました。

さらに、国民健康保険税の滞納者39世帯92名に対しては、国民健康保険証の短期交付をして納税勧奨をしたところであります。

また、8月末現在の資格証明証交付世帯は、12世帯21名となっているところであります。

（建設水道課行政報告）

次に、水道料金の滞納対策については、有効な手法として給水停水処分があり、過去においては、極めて悪質なものについてのみ限定して実施してまいりましたが、昨年度から処分手続きを改め、納入誓約の不履行者など誠実な対応が見られない方へも範囲を広げるなど納付勧奨してきたところであります。

今後も、町税、公共料金等の収納率向上に向けて、適切な対応に努めてまいります。

（町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、交通安全対策についてであります。道内の交通死亡事故は9月1日現在、死者数は137人と前年より56人減少している中、上川支庁管内におきましては、死者が27人で前年に比べ20%増加という憂慮すべき事態にあります。

このような状況の中、本町の交通死亡事故ゼロの継続は、9月1日現在1,421日に達し、交通死亡事故ゼロ継続日数の全道ランキングでは、全体で31位、人口1万人以上の市町村の中では全道1位となっているところであり、その後も更に継続しております。

これも一重に町民一丸となり交通安全の取り組みを進めている結果であり、関係機関のご協力に感謝申し上げます。今後におきましても町民総ぐるみで交通安全に取り組み、これからも2千日を目指し推進を図ってまいります。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農業関係であります。本年は融雪期が早く、好天に恵まれる中、5月上旬には一時降霜が見られる低温時期と5月下旬から7月上旬の間は周期的な気温変化が見られましたが、8月中旬までは概ね平年並みの気候で推移しました。その後は、一時期最低気温が10℃を下回るなどの低温期もありましたが、各作物の生育は概ね良好に経過しております。

今後においては、収穫作業が順調に進み、豊穰の秋を迎えることができるよう願っているところであります。

次に、JAグループ北海道が、道内農業関係団体との共催により生産資材価格高騰等に係る「全道農業危機突破総決起大会」を8月21日に札幌市中島公園を会場に開催いたしました。

本大会では、経済団体、消費者団体、行政、議会などが後援し、「オール北海道」の取り組みとして、全道各地から約5,300人が結集し、集会とデモ行進が行われ、JAふらの上富良野支所からは44名が参加し、北海道農業の危機的窮状を訴え、国に対して早急に抜本的な対策を講じるよう求めたところであります。

次に、上富良野町水田農業推進協議会主催の「けんこくまいおぬいぼさい献穀米御抜穂祭」が、9月15日に関係の皆様方の御臨席をいただき、厳かに執り行われました。

収穫された「ななつぼし」は、10月下旬には耕作者 平吹 俊一 氏 より天皇陛下に献上され、11月23日に皇居で催されます「にいなめさい新嘗祭」に奉納されることとなっております。

（産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、観光関係であります。まず、日の出公園の「ラベンダー一部刈り取り」と「第5回花と炎の四季彩まつり」についてであります。

日の出公園のラベンダー一部刈り取りにつきましては、映画撮影の候補地として、映画会社からシーズン中でのラベンダー一部刈り取りの申し入れがあったことによるものであります。

この申し入れに対しましては、ラベンダーの最盛期を迎える時期であり、また、「花と炎の四季彩まつり」を間近にしていたことから、町が単独で判断すべきでないと考え「四季彩まつり運営委員会」及び「観光協会」に協議を申し上げたところであります。次年度以降に大きな宣伝効果が得られるということで、一部刈り取りに協力し

たものであることを報告させていただきます。

こうした中、7月27日に「第5回花と炎の四季彩まつり」を開催いたしました。昨年から一日間の開催となったところですが、天候にも恵まれ、運営委員会を始め、関係の方々のご尽力によりまして、町内外より約1万2千人の来園者をお迎えし、ステージショー・行灯行列・花火等の行事を予定通り実施して、無事終えることができました。

四季彩まつりの開催に向けて、早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備整理などにご苦労いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、次年度の開催に向けて、関係者の皆様のより一層の連携をお願いし、地域振興につながる『イベント』となるよう努めてまいります。

次に、8月2日の「かみふらのビヤガーデン」についてであります。

これは、商工会、観光協会、農協、町で構成する「地産地消推進協議会」が、サッポロビール㈱に製造依頼した、上富良野産の大麦とホップで醸造した「かみふらのプレミアム生ビール」によるビヤガーデンであります。

当日は、あいにくの雨模様となりましたが、会場では商工会まちづくり委員会にご協力をいただき、地元農畜産物を食材にした多くの料理の販売もあり、神社まつりの夕刻、地産地消の推進と住民間の交流が図られ、盛況のうちに終えたところであります。

次に、サッポロビール㈱によります「ふるさと北海道応援企画」における本町のPR活動についてであります。

これにつきましては、サッポロビールが札幌大通公園で開設しているビヤガーデンにおいて、「食」や「観光」を通して北海道各地域の素晴らしさを発信し、その地域の振興を図ろうとする取り組みで、昨年に続き2回目の参加であり、今年は8月6日を

「上富良野DAY」として、常時2,500人以上の入場者で賑わった状況の中で、本町のPRを行ってきたところです。

このPR活動にご支援ご協力いただいた町内の関係団体の方々、また、当日、駆けつけていただきました「さっぽろかみふらの会」の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

次に上海招聘事業の関係であります。陳^{ちん}西^{せい}瑜^ゆ、王^{おう}思^し椒^{しょう} ご夫妻の仲介により今回、7月26日から30日にかけて、上海の大手月刊誌と週刊誌の記者2名が本町を訪れ、本町を拠点として、本町及び富良野・美瑛広域観光の取材活動がなされましたが、上海在住の王^{おう}氏からの連絡では、既に現地取材の記事が大きくとりあげられた雑誌が発刊されているとのことでもあります。

この上海招聘事業につきましては、引き続き、本町が富良野・美瑛広域観光の主導的な役割を果たしながら、効果が得られるよう進めてまいります。

（町立病院行政報告）

次に町立病院の療養病床の介護療養型老人保健施設への転換についてであります。先般、道と協議の結果、補助指令前着手届のもとで、ようやく工事入札を終え、改修工事が動き出したところであります。

今後は、老人保健施設の開設に向け設置条例の制定や関連予算の組換えが必要でありますので、今後町議会に必要な議案を提案させていただく予定であります。

次に、救急医療体制についてであります。現在、富良野保健所を中心とした富良野保健医療福祉圏域連携推進会議において、北海道医療計画富良野地域推進方針を策定検討中であります。

その中において、救急医療体制を今後も確保していくために、初期・二次医療機関

との役割分担と連携体制の強化が求められるとともに、救急病院の医師をはじめとする医療従事者の負担を軽減する観点から、不要・不急時の救急医療の利用を最小限のものとするため、軽症患者による夜間の救急外来利用の適正化や、救急車等の適切な利用促進について、普及啓発に努めることとされております。

町立病院においても、現状を町民の皆さんにご理解いただく努力を行うとともに、医師の負担軽減に努めてまいります。

（教育振興課行政報告）

次に、国内外交流事業についてであります。平成9年度に三重県津市の安東小学校と、西小学校との間で姉妹校の提携をし、相互訪問交流を進めてきておりますが、本年度は7月28日から3日間の日程で西小学校から安東小学校へ7名の児童と引率教員2名の計9名が訪問してまいりました。

ホームステイや津市の視察研修などを行い、短い生活体験と交流ではありましたが、安東小学校と西小学校の友好の絆をさらに深めてきたものと考えております。

私も、子どもたちに同行し、交流事業に参加するとともに津市市長や、教育長等と面会し、両市町の姉妹都市交流の継続を確認してまいりました。

次に、新しい英語指導助手の着任についてであります。ダナ・ビゲロウ 氏の後任として、同じくカナダ国アルバータ州カムローズ市からニコール・ヒューゼビー 氏を迎え、8月1日から正式に活躍していただいているところであります。彼女は、いろいろなスポーツに親しむなど、明るく活発な方で、上富良野町の子供たちに国際理解と英語指導に当たっていただくとともに、日本の文化や自然を学びたいという意欲が旺盛なことから、今後の活躍を期待しているところであります。

次に小中学生の本年度におけるスポーツ少年団や部活動等の活躍について報告をさ

させていただきます。

まず、小学生においては、野球、バレーボールの各少年団が全道大会に出場するとともに、上小スクールバンドが、昨年度に引き続き全道大会に出場を果たしたところであります。

中学生においては、東中中ソフトテニス部の3組が函館市で開催された全道大会へ、上中陸上部19名が小樽市での全道大会へ出場するなど、中体連の各競技において優秀な成績を収めており、中体連関係以外においても、中学生少林寺拳法大会北海道予選会において全国大会への出場権を獲得し、その結果、見事6位に入賞するなど、各競技において優秀な成績を収めております。

また、上中吹奏楽部が昨年度に引き続き全道大会に出場し、東日本学校吹奏楽大会への代表権を獲得したところであります。

なお、上中の東日本学校吹奏楽大会への出場に伴う町の負担については、今回上程した一般会計補正予算（第6号）において計上させていただいておりますので、町民の皆様及び議員各位のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

次に、上富良野高校に係る事項について報告させていただきます。

7月16日に平成21年度から平成23年度における公立高等学校配置計画案が北海道教育委員会より示されたところであります。

その内容は、平成23年度に富良野高校が5間口から4間口へと、1間口の減となり、上富良野高校については現状維持となっております。

しかしながら存続については依然として厳しい状況にありますので、上富良野高校の存続を継続して行くため、今後においても更に努力していく所存であります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に建設工事の発注状況についてですが、6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、9月4日現在、件数で20件、事業費総額で8千261万4千円で、本年度累計では、33件、事業費総額5億8千220万4千円となっております。

また、事後審査型一般競争入札試行実施要綱を7月1日に施行し、同要綱に基づく一般競争入札を1件実施しました。

なお、お手元に「平成20年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご覧いただきたく存じます。